

## 11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	－	－
		一般小売店〔靴・袋物〕（経営者）	・中国や香港、台湾からの観光客が、少しずつ回復している。
		スーパー（企画担当）	・消費マインドの低下は顕著であるが、震災の商品供給への影響は徐々に回復している。また、新規テナントの売上が底上げし、販売力は上向きになると考えられる。
		コンビニ（経営者）	・今後は生産体制が良くなり、売れ筋商品の入荷が安定してくると見込む。
		コンビニ（エリア担当）	・現在より観光客の戻りは期待できると判断する。また、県内経済も観光を除いては東日本大震災の影響は薄れており、落ち着いてくるものと判断する。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・那覇市の中心部の再開発事業の一環として「那覇の日」の7月8日にイベントがある。会場である新しい商業施設は、那覇市の図書館など様々な施設が入居しており、イベントの広場もあるので目抜き通りが更ににぎわいのある元気な通りになる。
		観光型ホテル（総支配人）	・沖縄観光の繁忙期を控え、予約の間際化が一層顕著であるが、予約は好調に推移している。前年並み集客はみえてきている。ただし、客単価の大幅低下で売上は15%前後減の見込みである。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・東日本大震災の影響を受け、当初はかなり厳しい状況が長続きすると予測していたが、この夏場は、予約受注の動きが前年並み若しくは、前年を越える状況となってきている。旅行マーケット自体が自粛傾向から回復してきているのが感じられる。
		ゴルフ場（経営者）	・沖縄観光は、他府県より好転の兆しがあるので、その分やや良くなるかもしれない、とみている。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	・前年の7月は全国高校総体の特需で比較はできないが、今のところ前々年並みの予約が入って来ている状況にあり、先行きに期待できる。
変わらない	変わらない	百貨店（営業企画）	・中元ギフトシーズンとなる7～8月、衣料品については改装効果による前年を上回る予測を立てているが、主力となるギフト商品の動向については、東日本大震災後の客の心境に影響されるため、予測できない。
		スーパー（販売企画担当）	・前年から競合店出店が多いことやスーパーマーケットからディスカウントストアへと業態変更などもあり、競争は激化している。そのなかで来客数の減少は止まらないと考えられ、厳しい状況は変わらない。
		コンビニ（経営者）	・必要な物以外を購入しない節約ムードは、しばらく続くともみる。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・夏に入り観光客の増加、学生の夏休み入りなど売上が上がる要素はあるが、ここ3か月の動向をみる限りではあまり期待できない。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・客自身が多くの展示場などを見学するなどして、情報を多く収集しているが、住宅を選ぶ判断基準が客によって違う。東日本大震災の影響などを考え、大きな買物である住宅購入をより慎重に判断しているとみている。しばらくは、現状のままで、景気は変わらないと推測する。
やや悪くなる	やや悪くなる	家電量販店（総務担当）	・地上デジタル放送開始以降の需要減と前年のエコポイント制度の反動減が大きい。
		通信会社（店長）	・新商品の発売が多く現在は好調だが、人気商品に販売が偏っているため、納得のいく物にしか財布のひもが緩まない傾向があり、新商品が落ち着けばまた元に戻るとみている。
悪くなる	悪くなる	商店街（代表者）	・現在、東日本大震災の影響も相当あり、観光客数が激減している上に、土産の消費単価が落ちているようである。地元客についても、消費単価が前年よりも相当落ち込んでいるとの話もある。中心商店街は大型店の影響も大きく、先行きは厳しい状況になるとみている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・まだ節約志向が続いており、週末は例年並みだが、平日の集客に苦慮している。徹底した低価格志向になっている上に、仕入れの値上げがあり、中小店は四面楚歌状態である。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	－	－
		建設業（経営者）	・住宅の相談及び引き合い件数が増加している。
		通信業（営業担当）	・システム開発の受注も少しずつ持ち直してきているとの営業の話があり、先は明るい。

	変わらない	輸送業（代表者）	・東日本大震災の影響や原燃料価格の高騰などの不安要素は多いが、上期は現状どおりと予想する。
	やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共、民間工事が減少する見通しである。
		広告代理店（営業担当）	・国や県の補助事業による新たな事業開発分野の支援活動は活発化しているが、肝心の個人消費が回復基調にないことから、県内企業の販促活動が低迷していくように感じている。
	悪くなる	○	○
雇用 関連	良くなる	—	—
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・契約終了のユーザーもあるが、それ以上に新規依頼が増加、また既存ユーザーも人数の追加や別部門での依頼もあるため、利益のアップが見込まれる。
		人材派遣会社（総務担当）	・コールセンター業界を中心に受注案件が増加しつつあり、また夏の観光シーズンに向けても販売及び接客業の派遣求人の依頼が少しずつ増えてきており、期待が持てる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（総務担当）	・東日本大震災の影響で景気がやや悪くなると思われたが、震災から3か月で大きく変わった項目は無く、このままの水準で推移すると予想される。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・前年の同時期も求人や景気は良くはなかった。同様の状況が続く。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・採用したいが経営状況が厳しいとの声もあり、先行きがはっきりしない。学生には、求人を待つのではなく積極的に意欲を見せることで求人を作りだすことも可能であると指導しており、求人増を期待する。
	やや悪くなる	—	—
	悪くなる	—	—